

# Ⅲ

## 学校保健関係調査結果について

- 「平成29年度学校保健統計調査」
- 「平成29年度宮城県児童生徒の健康課題統計調査」
- 「平成29年度体力・運動能力,健康課題に係る取組状況調査」



歯科衛生士によるブラッシング指導で学ぶ小学生の様子



# 「平成29年度学校保健統計調査」

## 1 肥満傾向児の出現率

### ① 全国値との比較

- ・男女ともに全ての学年で、全国値より高くなっている。
- ・男子では、高等学校1年生（15歳）が全国1位、幼稚園児（5歳）及び小学校1年生（6歳）が全国2位となっている。
- ・女子では、小学校1年生（6歳）が全国2位となっている。

### ② 昨年度との比較

- ・男子では、8割弱の学年で肥満傾向の割合が減少している。
- ・女子では、半数以上の学年で肥満傾向の割合が減少している。

### ③ 震災前（平成22年度）との比較

- ・男子では、半数以上の学年で肥満傾向児の割合が増加している。
- ・女子では、半数以上の学年で肥満傾向児の割合が減少している。

#### ○男子

(参考)

区分	平成29年度				平成28年度			平成22年度		
	宮城県値	全国値	差	順位	宮城県値	差	順位	宮城県値	差	順位
幼稚園	6.26	2.78	3.48	2	3.97	2.29	8	4.27	1.99	6
小学校										
1年生	7.88	4.39	3.49	2	8.25	△ 0.37	2	6.99	0.89	6
2	6.52	5.65	0.87	17	6.61	△ 0.09	12	7.43	△ 0.91	12
3	10.92	7.24	3.68	5	11.91	△ 0.99	5	10.17	0.75	8
4	12.05	9.52	2.53	8	13.56	△ 1.51	4	13.43	△ 1.38	5
5	12.79	9.99	2.80	8	14.72	△ 1.93	4	13.07	△ 0.28	8
6	13.56	9.69	3.87	5	17.76	△ 4.20	2	10.70	2.86	21
中学校										
1年生	14.05	9.89	4.16	4	15.49	△ 1.44	3	16.56	5.57	2
2	9.51	8.69	0.82	18	12.96	△ 3.45	2	14.56	△ 5.05	2
3	8.65	8.04	0.61	20	10.05	△ 1.40	7	12.45	△ 3.80	2
高等学校										
1年生	18.47	11.57	6.90	1	10.92	7.55	27	12.28	6.19	24
2	11.09	9.93	1.16	18	10.16	0.93	22	13.35	△ 2.26	13
3	11.46	10.71	0.75	21	12.60	△ 1.14	11	10.98	0.48	26

#### ○女子

区分	平成29年度				平成28年度			平成22年度		
	宮城県値	全国値	差	順位	宮城県値	差	順位	宮城県値	差	順位
幼稚園	4.41	2.67	1.74	8	4.47	△ 0.06	3	5.90	△ 1.49	2
小学校										
1年生	7.86	4.42	3.44	2	6.16	1.70	10	7.68	0.18	5
2	8.95	5.24	3.71	5	5.52	3.43	24	7.55	1.40	8
3	8.43	6.55	1.88	9	11.36	△ 2.93	2	8.62	△ 0.19	12
4	9.25	7.70	1.55	9	10.61	△ 1.36	3	9.54	△ 0.29	8
5	10.25	7.74	2.51	10	10.53	△ 0.28	6	11.76	△ 1.51	3
6	10.82	8.72	2.10	11	10.39	0.43	11	12.14	△ 1.32	5
中学校										
1年生	10.12	8.01	2.11	12	12.39	△ 2.27	3	14.11	△ 3.99	1
2	7.81	7.45	0.36	25	11.27	△ 3.46	2	12.71	△ 4.90	1
3	7.16	7.01	0.15	27	9.62	△ 2.46	9	12.09	△ 4.93	2
高等学校										
1年生	9.66	7.96	1.70	15	9.17	0.49	21	8.16	1.50	32
2	9.72	7.38	2.34	10	8.63	1.09	19	7.34	2.38	26
3	9.59	7.96	1.63	17	8.99	0.60	16	6.62	2.97	40

※ 「差」は、平成29年度の宮城県値と比較したもの。

## 2 肥満傾向児の出現率の推移

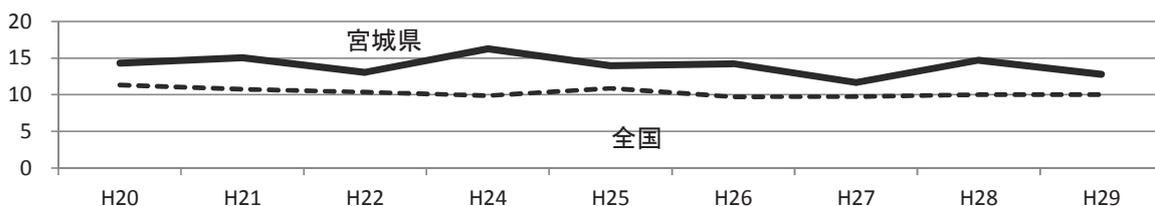
文部科学省：学校保健統計調査  
(抽出調査：国公立)

宮城県全体

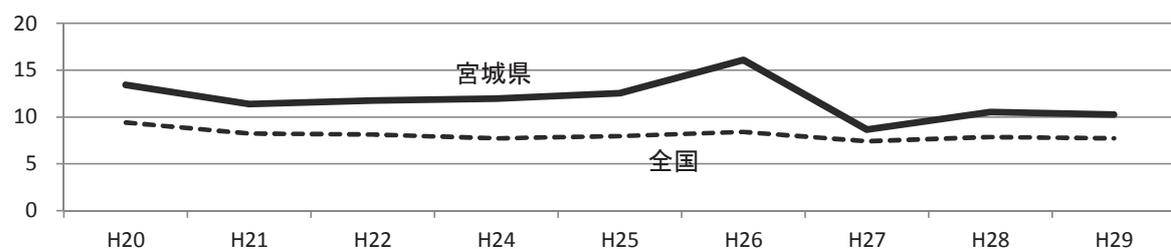
小5男女・中2男女とも全国平均値を上回っているが、平成28年度に比べ減少している。

(単位：%)

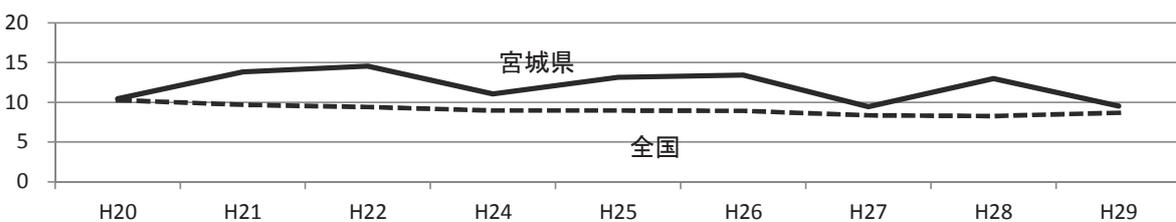
小5男子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29
宮城県	14.31	15.06	13.07	16.28	14.00	14.24	11.67	14.72	12.79
全国	11.32	10.76	10.37	9.86	10.90	9.72	9.77	10.01	9.99



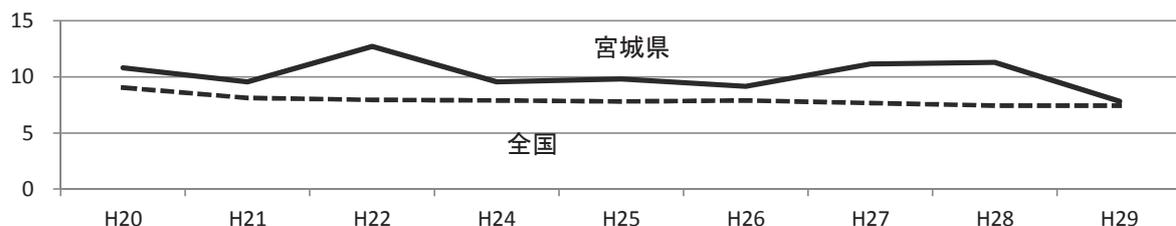
小5女子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29
宮城県	13.44	11.39	11.76	11.96	12.53	16.10	8.67	10.53	10.25
全国	9.42	8.26	8.13	7.73	7.96	8.40	7.42	7.86	7.74



中2男子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29
宮城県	10.46	13.80	14.56	11.06	13.14	13.40	9.45	12.96	9.51
全国	10.28	9.71	9.41	8.96	8.97	8.94	8.37	8.28	8.69



中2女子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29
宮城県	10.79	9.54	12.71	9.55	9.79	9.15	11.13	11.27	7.81
全国	9.05	8.13	7.96	7.90	7.83	7.89	7.69	7.46	7.45



### 3 むし歯被患者【処置完了者と未処置歯のある者】の割合の推移

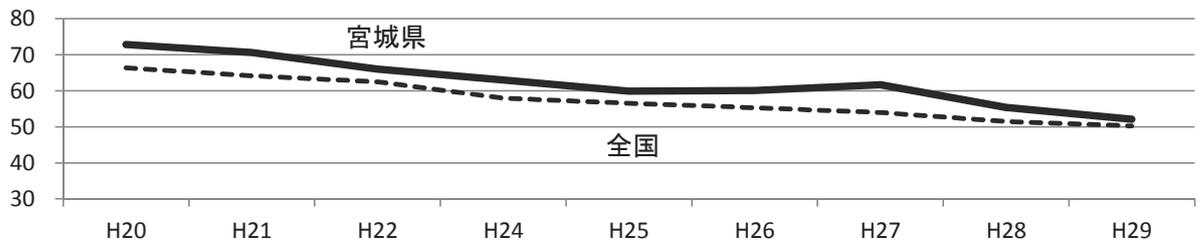
文部科学省：学校保健統計調査（抽出調査：国公立）

宮城県全体

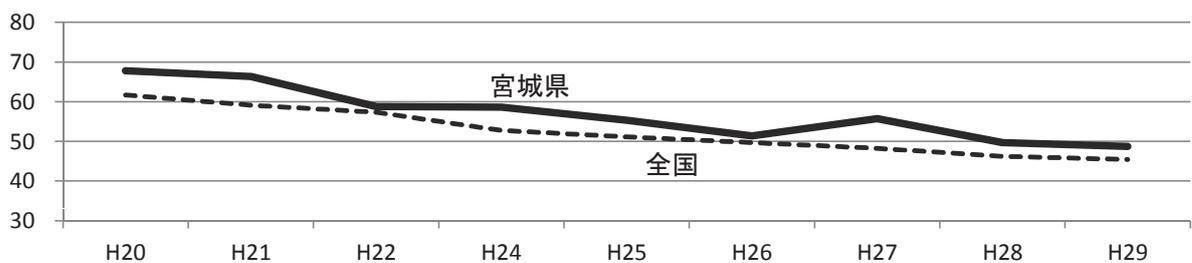
小5男女・中2男女とも全国平均値を上回っているものの、改善傾向にある。

(単位：%)

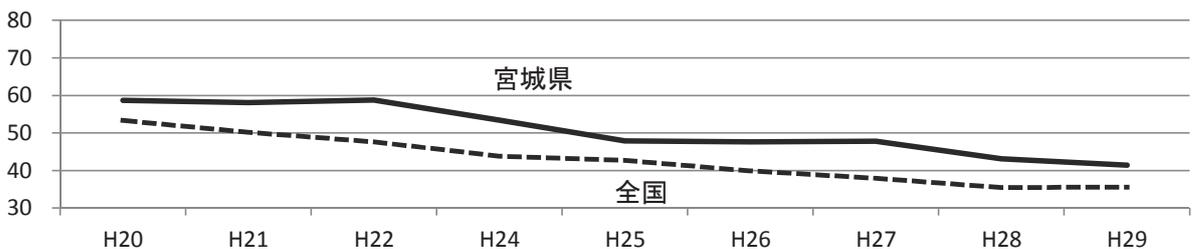
小5男子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29
宮城県	72.80	70.60	66.00	63.00	59.90	60.10	61.70	55.40	52.10
全国	66.32	64.14	62.49	57.97	56.49	55.29	53.98	51.50	50.28



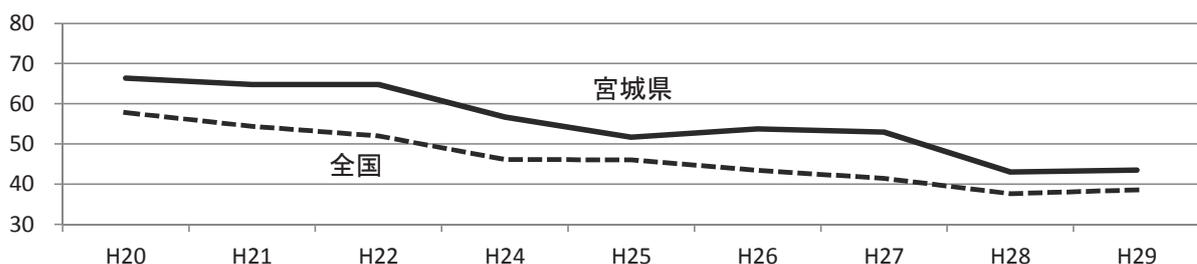
小5女子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29
宮城県	67.80	66.30	58.80	58.60	55.30	51.40	55.70	49.70	48.70
全国	61.70	59.08	57.33	52.73	51.09	49.71	48.23	46.19	45.45



中2男子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29
宮城県	58.70	58.10	58.80	53.40	47.90	47.60	47.80	43.10	41.40
全国	53.34	50.21	47.63	43.77	42.70	39.89	37.90	35.42	35.57



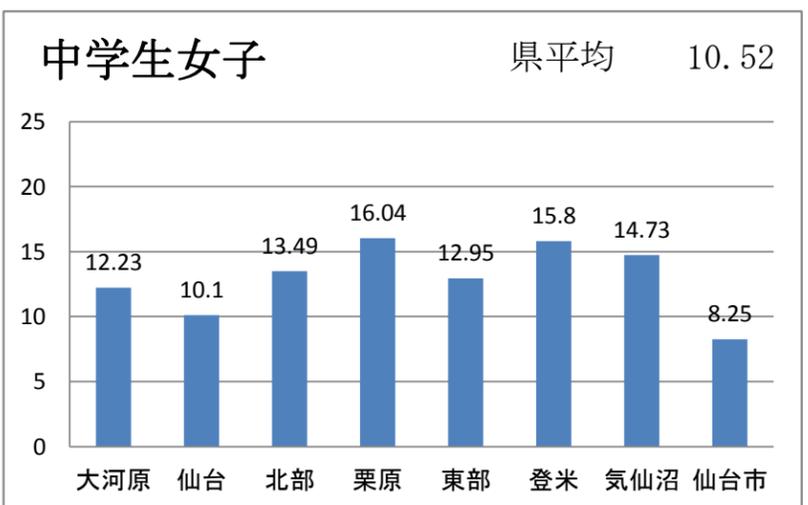
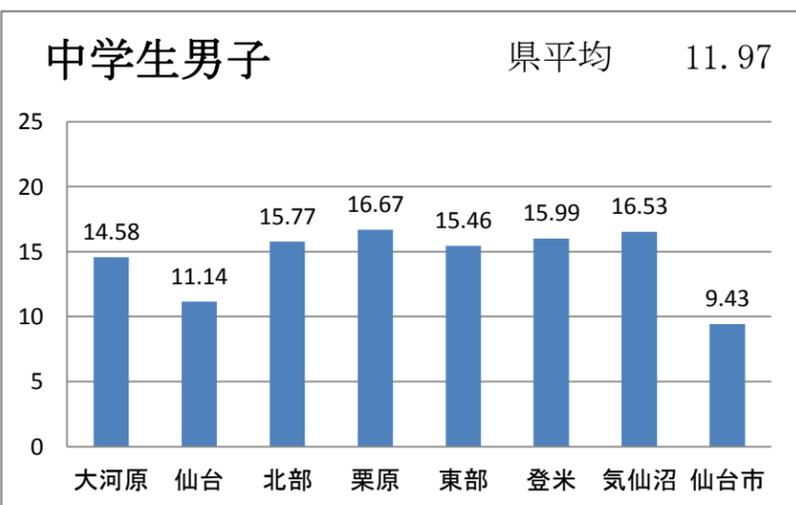
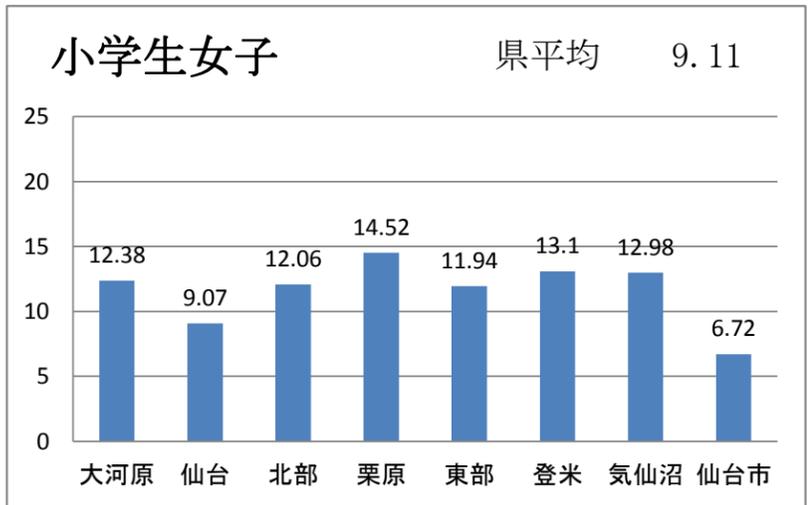
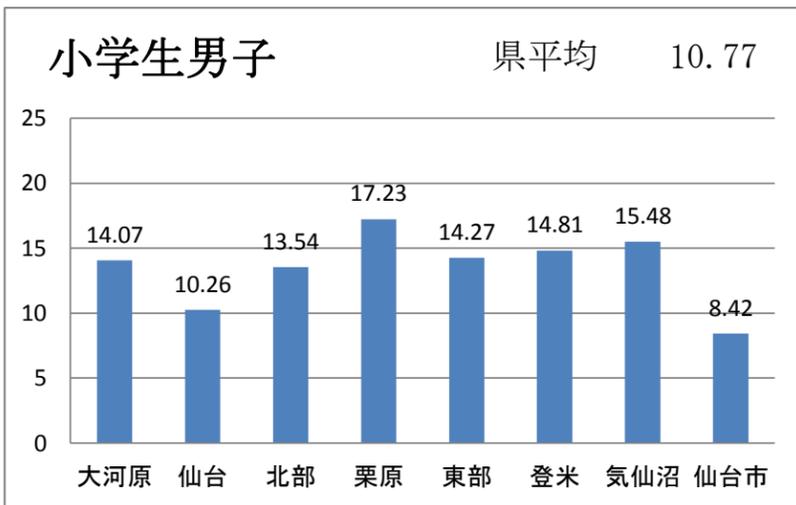
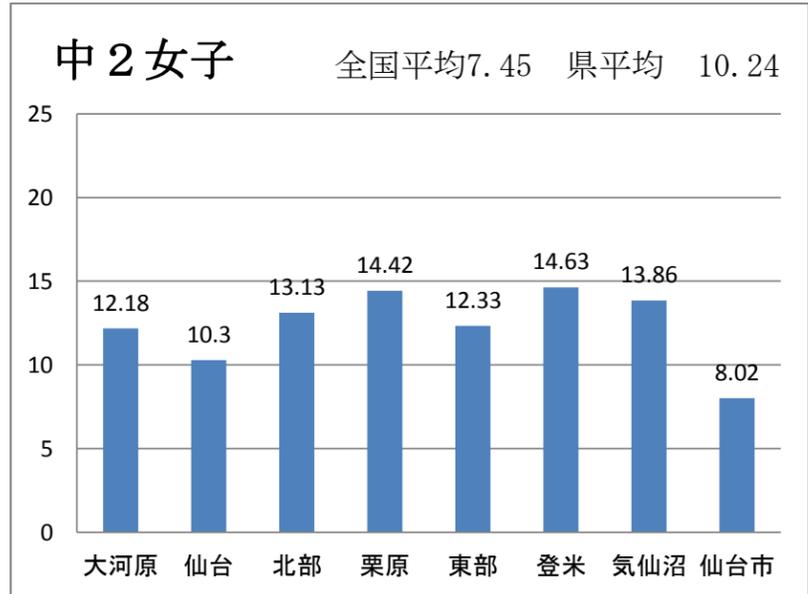
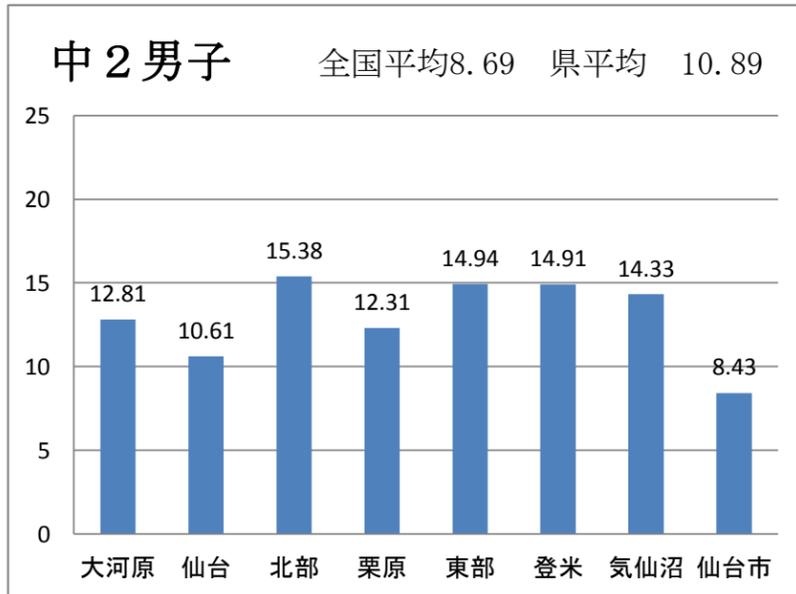
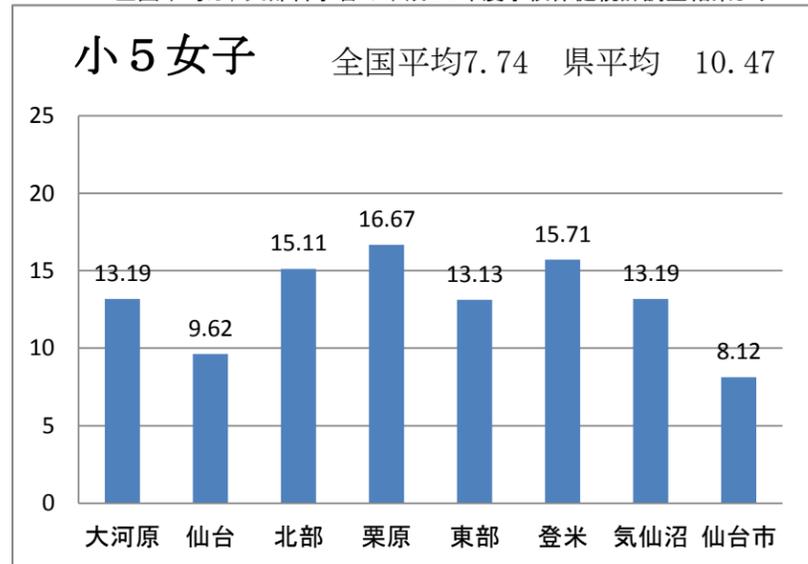
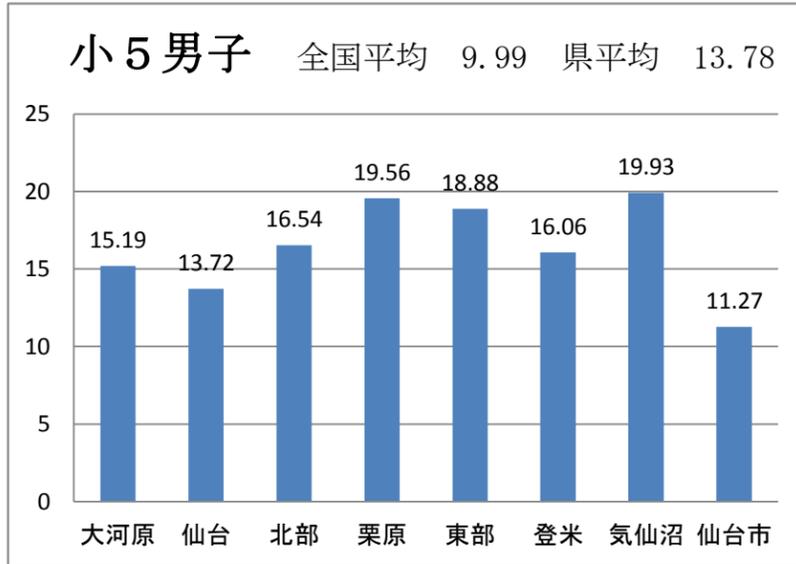
中2女子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29
宮城県	66.40	64.80	64.80	56.70	51.70	53.70	52.90	43.00	43.50
全国	57.82	54.34	51.96	46.12	46.06	43.42	41.38	37.57	38.57



# 「平成29年度宮城県児童生徒の健康課題統計調査」

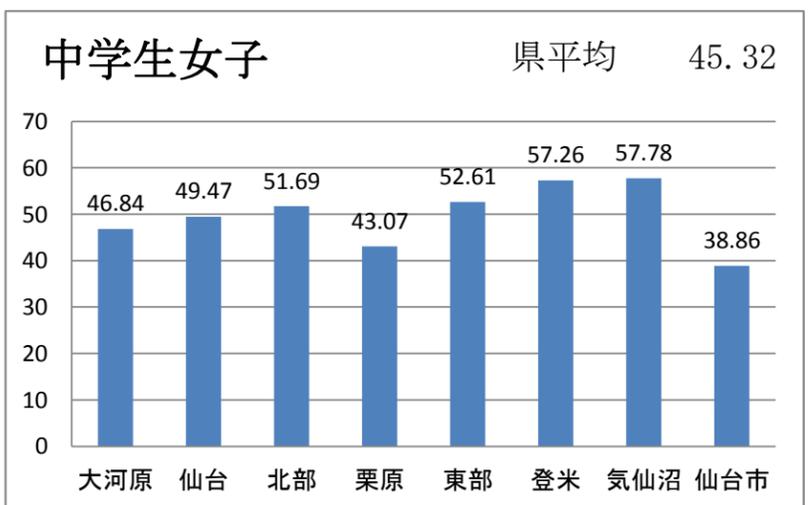
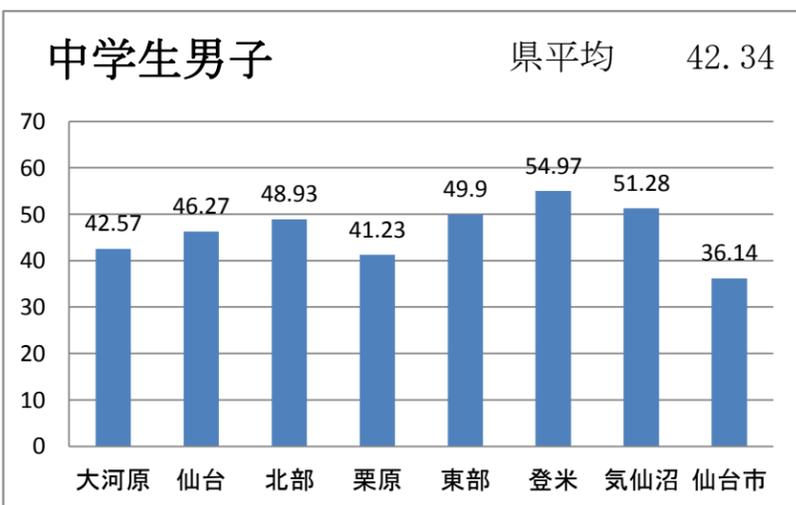
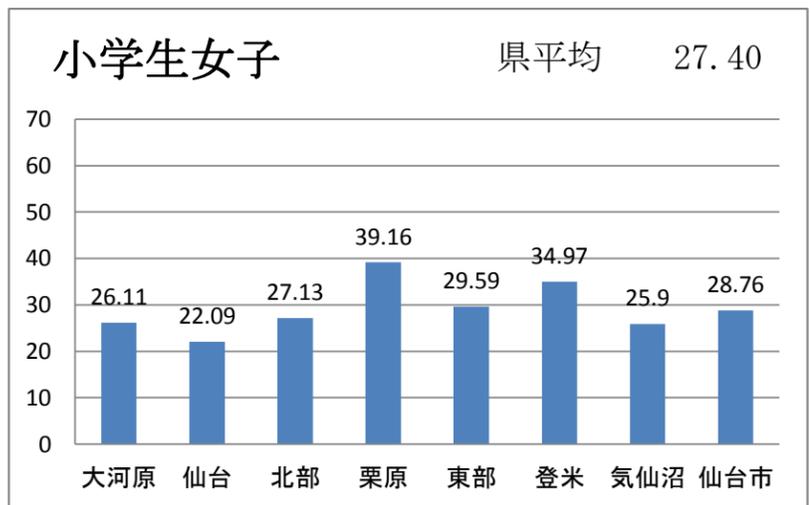
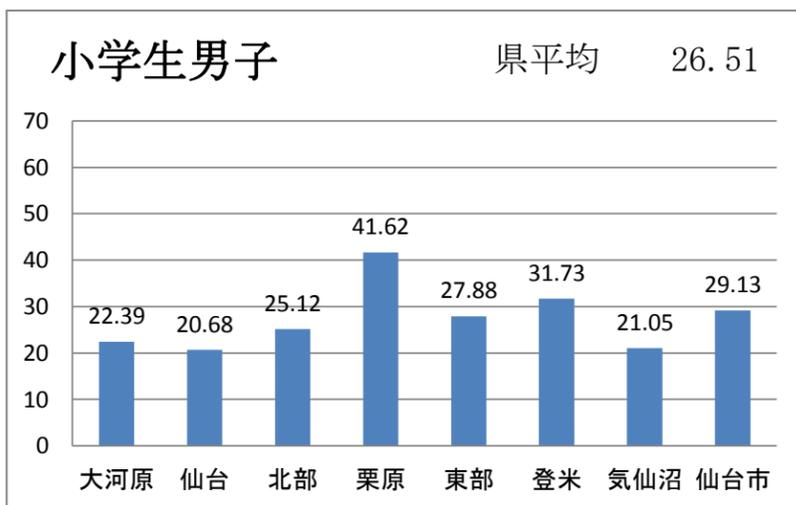
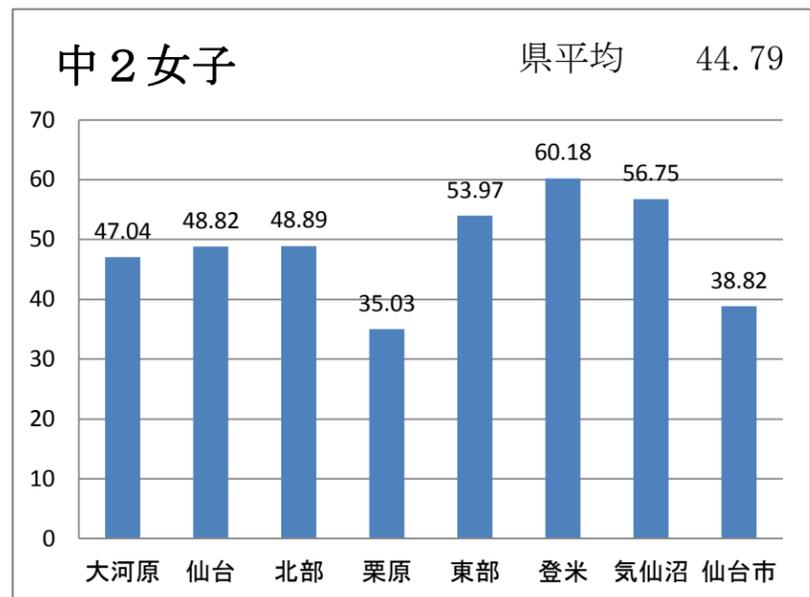
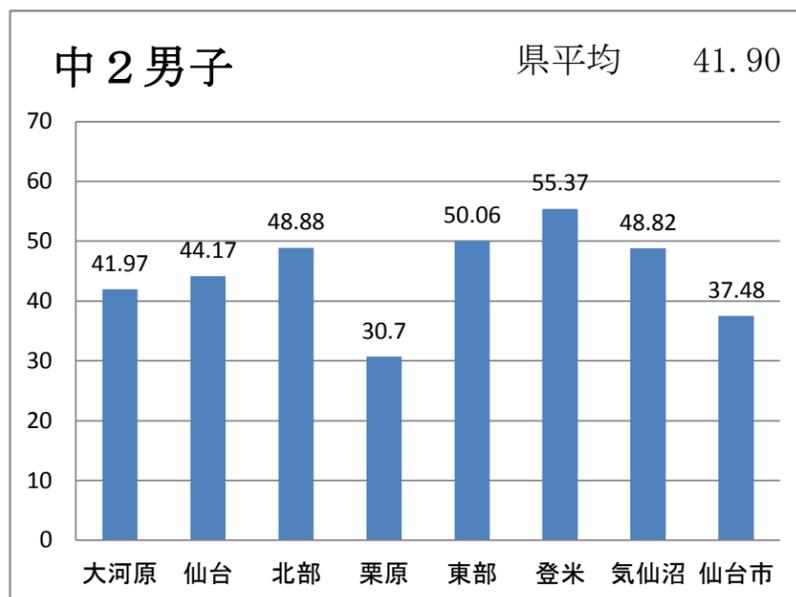
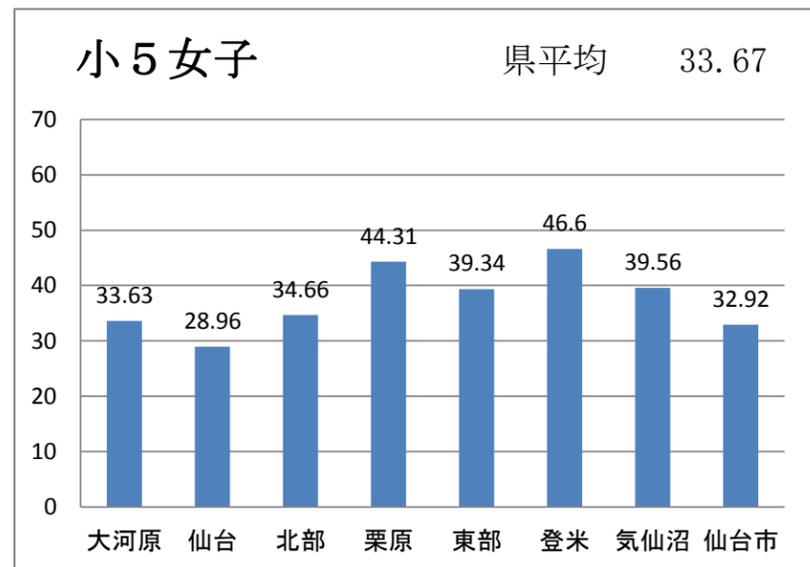
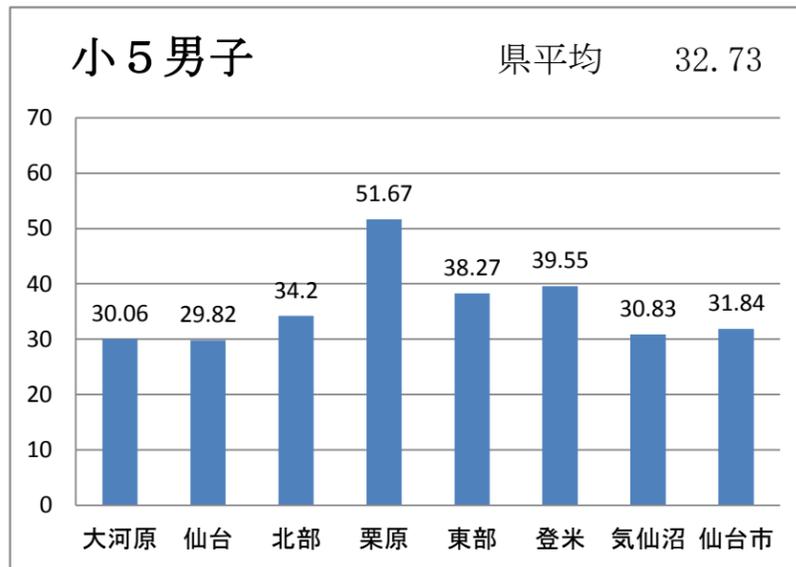
## 1 地域別の肥満の状況(肥満傾向児の割合)

\* 全国平均は、文部科学省の平成29年度学校保健統計調査結果より



- 全国と比較すると、県の平均は小5・中2の男女とも全国平均を上回っている。
- 全体的に、仙台市近郊は肥満傾向児の出現率が県平均を下回っており、他の地域は上回っている。
- 小学生より中学生の肥満傾向児の割合が減少している地域は、男子は栗原、女子は大河原である。

## 2 地域別の永久歯う歯り患の状況(う歯り患率)



- う歯罹患率は全国同様、低下傾向で推移しているが、う歯り患率に男女差は、特にみられない。
- 小学生では、大河原・仙台・北部・気仙沼が県平均を下回っているが、中学生では4地区とも県平均を上回っている。
- 中学生では、仙台市・栗原が県平均を下回っている。
- 小学生では栗原・登米が高い傾向にあり、中学生では仙台市・栗原以外で高い傾向にある。

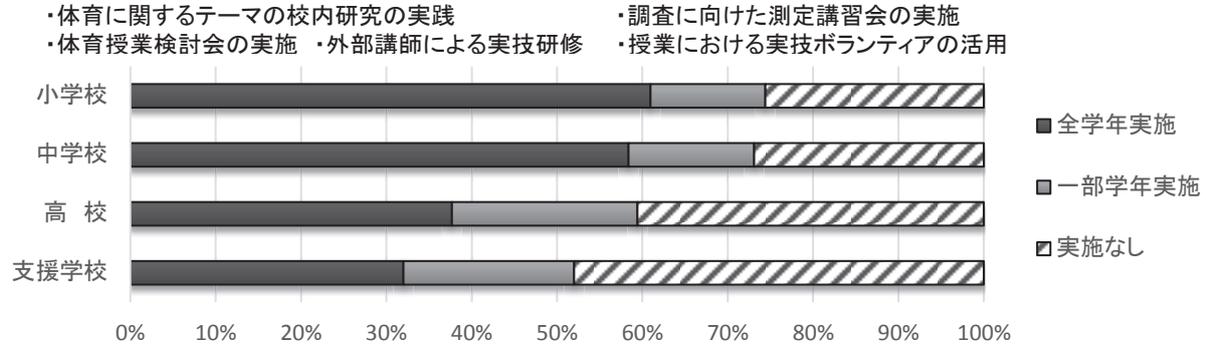
# 平成29年度体力・運動能力，健康課題に係る取組状況調査

## 学校全体への調査

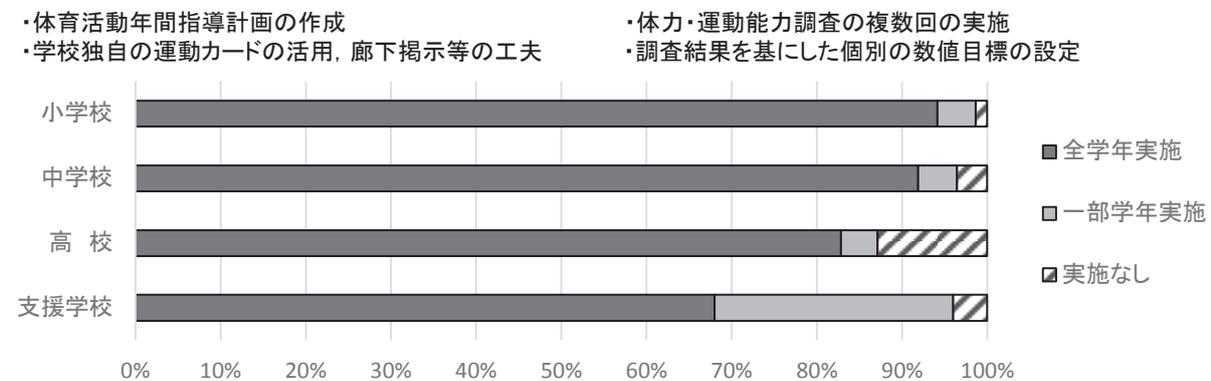
対象：県内公立小・中・高等学校（全日制），  
特別支援学校【全校種とも仙台市を含む】  
期間：8月1日（火）～10月31日（火）

### 【体力・運動能力の向上に係る組織的な取組について】

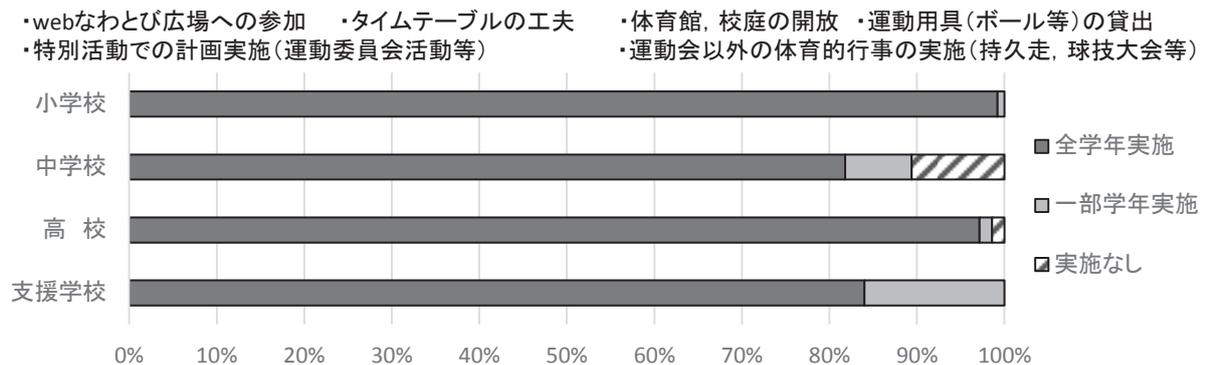
問1 授業改善に向けた教員研修等を実施していますか。



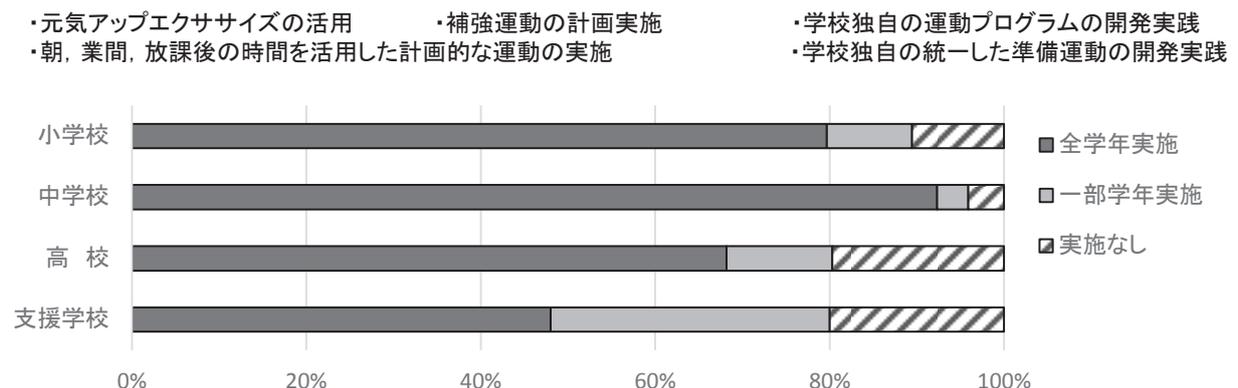
問2 児童生徒が明確な目標を持てるような指導を行っていますか。



問3 運動機会確保のための工夫をしていますか。



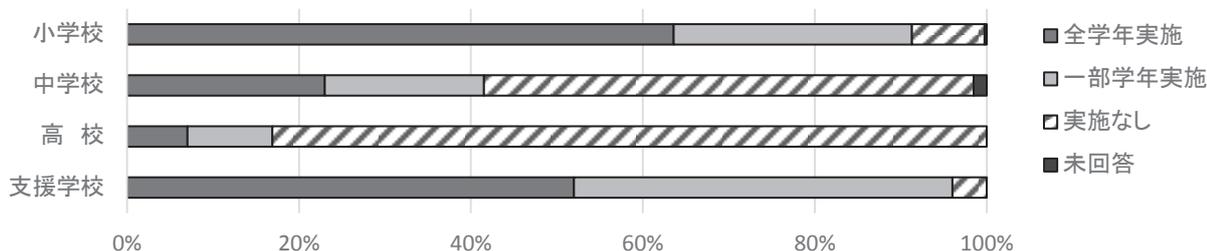
問4 校内で統一した補強運動等を実施していますか。



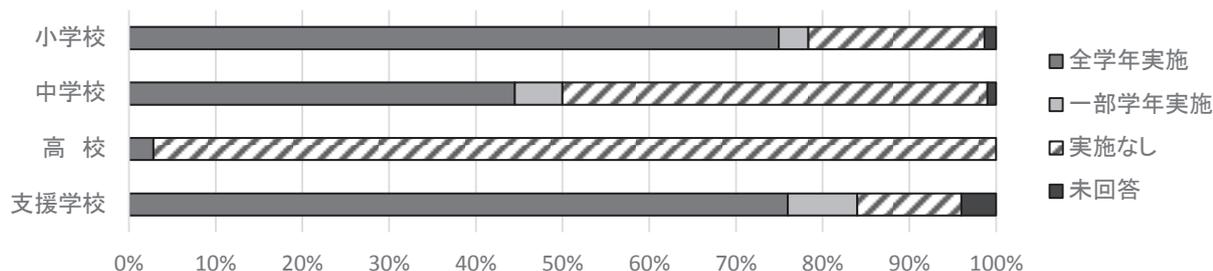
## 学校全体への調査

### 【歯科保健に係る取組について】

問5 教科以外で歯科の保健教育（集団指導）を実施しましたか。



問6 歯みがき習慣の定着に向けた取組を実施していますか。



問7 貴校で行っている歯科保健に係る具体的な取組をご記入ください。（一部抜粋）

#### ○小学校

- ・ 歯科校医、歯科衛生士との連携による歯科指導の実施
- ・ 市町村保健担当局事業との連携による歯科指導の実施
- ・ 歯みがきタイムの時程への位置づけ
- ・ 週1回のフッ化物洗口の実施
- ・ 健全歯児童及び治療済み児童への表彰
- ・ カラーテスター、デンタルフロスの活用
- ・ 治療勧告者への複数回の勧告と個別指導
- ・ 学校行事での保護者への歯科衛生管理への啓蒙
- ・ 保護者に対する口腔衛生に関する情報提供（保健だより）
- ・ 歯科校医講師による職員研修の実施
- ・ 学級担任による生活記録カードを用いた歯みがきチェック（長期休業中を含む）
- ・ 学区内中学校の養護教諭との情報共有と連携
- ・ 児童による専門委員会等を活用した取組（朝会、掲示物の作成、標語募集表彰等）

#### ○中学校

- ・ 保護者との連携（家庭訪問、教育相談、市町村による医療補助制度の情報提供等）
- ・ 学校歯科医、歯科衛生士による歯科指導
- ・ 未受診者への複数回の受診勧告と個別指導
- ・ 校内掲示の工夫（むし歯保有率、受診率等）
- ・ 全校歯みがきタイムの実施
- ・ 生徒の口腔衛生に関する内容をテーマとした調べ学習と発表（歯とスポーツ、歯と学力等）
- ・ 長期休業中を利用した部活動毎の歯磨き指導

#### ○高等学校

- ・ 保健だより、校内掲示を用いた口腔衛生に関する情報提供
- ・ 歯科講話及び染め出し等の実施
- ・ 保護者との連携（三者面談等）
- ・ 受診勧告者への個別指導の実施

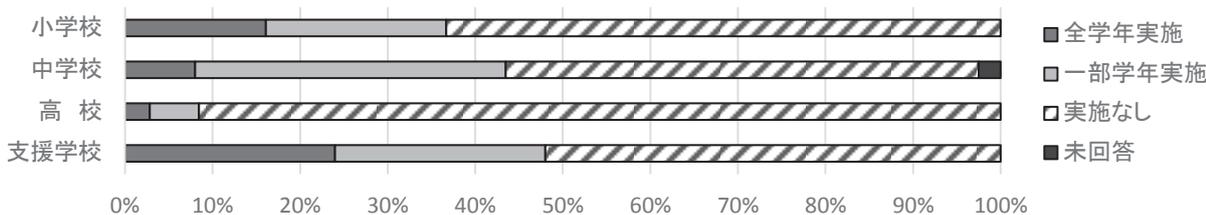
#### ○支援学校

- ・ 給食後の歯みがき指導の徹底と担任による仕上げみがきの実施
- ・ 歯みがきタイムの実施
- ・ 長期休業時における歯みがきカードの活用
- ・ 健全歯児童及び治療済み児童生徒への表彰

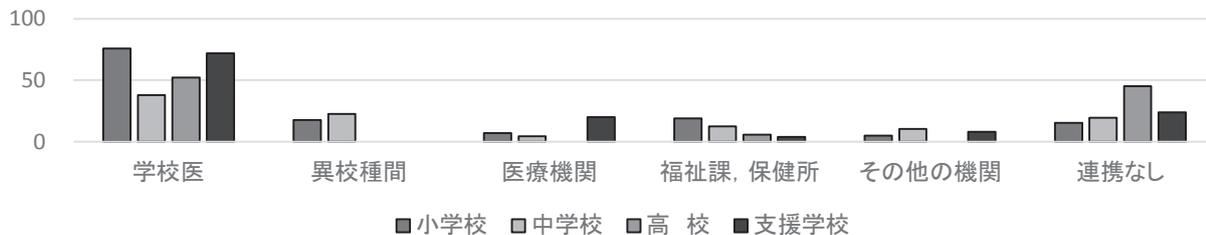
## 学校全体への調査

### 【肥満対策に係る取組について】

問8 教科以外で肥満に関する保健教育（集団指導）を実施しましたか。



問9 肥満の健康課題について、次の機関等と連携を図っていますか。（複数回答可）



問10 貴校で行っている肥満の改善に向けた具体的な取組をご記入ください。（抜粋）

#### ○小学校

- ・保護者との連携  
(成長曲線の提示や生活習慣改善への情報提供、管理栄養士、栄養教諭との面談、PTA行事の活用)
- ・市町村保健担当局事業との連携による生活改善指導の実施
- ・肥満度のクラスごと一覧を年2回作成し、推移の調査及び分析を実施。
- ・運動量の確保  
(外遊びや徒歩通学の奨励、組織的業間運動の実践、運動カードや元気アップエクササイズの利用)
- ・食習慣改善に向けた個別指導（保健室連絡ノートの活用、フードモデルの提示、給食時巡回指導）
- ・学校保健委員会での課題検討（管理校医及び医療機関との連携）
- ・学区内中学校の養護教諭との情報提供と連携
- ・児童による専門委員会等を活用した運動への取組  
(季節に応じた体育的行事、運動朝会、webなわ跳び広場 等)

#### ○中学校

- ・保護者との連携（家庭訪問、教育相談等）
- ・医療機関への情報提供と連携
- ・市町村保健担当局事業との連携による生活改善指導の実施
- ・栄養教諭、栄養士による食育指導（望ましい清涼飲料水の摂取を含む）
- ・生活習慣、体重チェックカードの活用
- ・学区内小学校の養護教諭との情報提供と連携
- ・運動量確保への全校体制での組織的取組（月例マラソン等）・冬期間の全校部活動の実施
- ・保健体育科授業（保健分野）の充実（養教及び栄養教諭とのTT指導等）

#### ○高等学校

- ・保健科目の充実（養教とのTT指導等）
- ・体育科授業の充実（サーキットトレーニング、補強運動の実施、個別の回数や負荷の設定）
- ・保護者との連携（三者面談等）
- ・校内オープンスペースへの体重計の設置
- ・医療機関との連携
- ・生徒会活動での望ましい生活習慣の確立への呼びかけ

#### ○支援学校

- ・個別ケース会議の実施（学級担任、養護教諭、保護者、栄養教諭）
- ・給食量の調節
- ・運動量の確保
- ・定期、不定期の身体測定の実施

# IV

## 課題と取組



短なわ跳びに取り組む小学生の様子



## 課題と今後の取組

### (1) 課題

- ① 小学生の運動機会確保に向けた継続的な取組が求められる。
  - ・ 「一週間の総運動時間」が、男女ともに全国平均より60分程度も短く、60分未満の割合も高いことが、体力・運動能力が低いことにつながっている。
- ② 中学生の運動の質を高めるための取組が求められる。
  - ・ 「運動部活動に所属する生徒」及び「一週間の総運動時間」は全国平均より高いが、体力・運動能力の向上には結びついていない。
- ③ 運動が苦手（嫌い）な子どもたちへの一層の配慮が望まれる。
  - ・ 「運動が苦手（嫌い）な傾向にある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組」を行っている学校の割合が全国平均より低い。
- ④ 正しい生活習慣の確立と健康教育への積極的な取組が求められる。
  - ・ 「健康三原則に対する意識」が低く、肥満傾向児出現率、むし歯被患者の割合が高いため、体力・運動能力の向上対策と合わせた取組が必要である。

### (2) 取組の方向性

- ① 子どもたちのよさを認め、やる気を引き出す体育の授業づくりに取り組む。
  - ・ 小学校では、ねらいの確実な提示と振り返る活動を積み重ね、全ての児童に「楽しい、もっとやってみたい」という運動への意欲をもたせることができるような授業づくりと、「web なわ跳び広場」をはじめとした休み時間等における子ども達の自主的な遊びを促す場づくりに取り組む。
  - ・ 中学校では、多様な生徒の学びや活躍を積極的に認め、生徒に自己肯定感や達成感を味わわせることができる授業づくりに取り組む。
  - ・ 体力や技能の程度、性別及び障害の有無に関わらず、子どもたちが「運動やスポーツを楽しんでいると感じることができる体育の授業」に向け、各種講習会をとおして教員の資質向上を図る。
- ② 学校における取組と家庭における取組を明確にしつつ、連携を深める。
  - ・ 学校においては、学校教育活動全体の中で、年間をとおして運動に親しむことができるような場を設定し実践を重ねることで、運動の日常化を図る。
  - ・ 家庭においては、児童生徒の「充実した食事」「望ましい睡眠」に心がけるとともに、休日の運動（遊び）を促進する。
- ③ 「肥満」や「むし歯」の減少や健康に関する意識の向上など健康教育への取組を推進する。
  - ・ 学校の教育活動全体をとおして、子どもたちに自分の身体への関心を持たせ、運動・食事・睡眠の大切さを理解させる。
  - ・ 体力カードや健康保健調査票等により、学校と家庭が児童の健康状況についての情報交換を行うなど連携を図る。

### (3) 今後の取組

#### ○学校の取組

#### 学校全体での取組の5つのポイント

- 1 授業改善に向けた教員研修等の実施**
  - ・ 体育をテーマとした校内研究の実践（授業検討会、外部講師による実技研修等）
  - ・ 授業における実技ボランティアの活用
- 2 児童生徒への明確な目標の提示（意欲づけ）**
  - ・ 体育活動年間指導計画の作成 ・ 学校独自の運動カードの活用、廊下掲示の工夫
  - ・ 調査結果を基にした個別の数値目標の設定 ・ 体力・運動能力調査の複数回実施
- 3 運動機会確保のための時間や場の創出**
  - ・ web なわとび広場への参加 ・ タイムテーブルの工夫 ・ 体育館、校庭の開放
  - ・ 運動用具（ボール等）の貸出 ・ 特別活動での計画的運動実践（運動委員会活動等）
  - ・ 運動会以外の体育的行事の実施（持久走大会、球技大会等）
- 4 校内で統一された補強運動等の実施**
  - ・ 元気アップエクササイズの活用 ・ 補強運動の計画的な実施
  - ・ 朝、業間、放課後の時間を活用した計画的な運動の実施
  - ・ 学校独自の運動プログラム（準備運動等）の開発実践
- 5 生活習慣改善に向けた取組と家庭・地域との連携**
  - 肥満**
    - ・ 栄養教諭、栄養士と連携した食育指導と校内研修の実施
    - ・ 養護教諭による生活習慣及び食習慣改善への個別指導
    - ・ 学級担任による記録カードを活用した生活状況把握と生活習慣改善への指導
  - 歯科**
    - ・ 歯科医師、歯科衛生士と連携した歯科指導と校内研修の実施
    - ・ 歯みがきのタイムテーブルへの位置づけ
    - ・ 学級担任による口腔環境の把握と指導
  - 家庭・地域との連携**
    - ・ 保健だより等、健康情報の発信と教育相談の実施
    - ・ ゲーム、スマホの時間制限等、適切な使用啓発による生活習慣改善
    - ・ 学校保健委員会における課題共有と解決への方策検討
    - ・ 小中連携による生徒情報の共有
    - ・ 医療機関、行政機関との連携強化

#### 体育・保健体育科の1時間の授業を構成するに当たって

- 1 「ねらい」の明確な提示**
  - ・ ICT 機器やホワイトボードなどの積極的活用で視覚化を図り、児童生徒が見通しをもって学習に臨める環境を提供しましょう。
- 2 多様な児童生徒の学びへの対応と適切な運動量の確保**
  - ・ 男女差や習熟度及び運動が苦手（嫌い）な傾向にある児童生徒に対応し、全ての児童生徒に対して適切な運動量を確保し、特性に応じた楽しさを味わわせましょう。
- 3 事故の未然防止に向けた安全面への配慮**
  - ・ 児童生徒の健康情報（健康診断結果、既往症等）を確実に把握したうえで授業に臨み、授業中の児童生徒の変化に絶えず注意を注ぎ、事故の未然防止に努めましょう。
- 4 「振り返り」の場面の設定**
  - ・ 授業の終末に「振り返り」の場面を設定し、児童生徒に自己肯定感や達成感を感じさせ、次時の学習への意欲を持たせることができるようにしましょう。

## ○家庭・地域の取組

### 家庭

- ・日常生活の見直しと規則正しい生活習慣の確立
- ・子どもの運動の状況把握と、積極的な運動実践への働きかけ
- ・休日に親子で一緒に運動（遊び）をするなどの、家族での運動機会の創出
- ・家庭での食事内容を充実
- ・おやつや清涼飲料水の摂取について、その量と内容に対する配慮
- ・体力カードや健康保健調査に関心を持ち、子どもの健康状況の確実な把握と改善

### 地域

- ・地域スポーツ指導者との連携
- ・放課後スポーツ教室等の実施
- ・ボランティアによる登下校の見守り活動
- ・放課後遊びの見守り活動

## ○県教委の取組

### 1 実態把握・家庭との連携

- 体力・運動能力調査の実施
- 学校保健統計調査の活用
- 学ぶ土台づくり
- ・体力カードの活用と分析
- ・保健調査票の活用と分析
- ルルブルの推進

### 2 課題解決会議

- 各地域の健康課題の共有
- 体力向上拡充会議

### 5 啓発事業

- 元気アップ通信の発行
- 取組好事例の紹介
- 食育推進啓発ポスター
- むし歯予防ポスター

### 3 指導者研修会

- 小・中学校体育主任対象とした体力・運動能力向上に関する講習会の実施
- 食育に関する指導者研修会の実施
- 学校保健に関する指導者研修会

### 6 web なわ跳び広場

- 長なわ8の字跳び大会
- 複数種目、カテゴリー別短なわ大会
- 前期・後期ごと表彰の実施

### 4 授業づくり研修

- 指導主事による学校訪問
- 取組好事例の紹介と活用モデルの提示

### 7 専門家派遣

- 各学校に専門医等を派遣し、個に応じた健康教育・健康相談を実施

# 体力・運動能力調査結果の有効活用のために

各学校においては、調査結果をもとに児童生徒一人一人の体力・運動能力、運動習慣等の実態や学校及び学級の傾向を把握し、それに基づいた指導を進めていくことが大切です。自校の結果を比較・分析することで課題を明確にし、その解決の手立てを考え、学校全体で体力向上・心身の健康の保持増進に向けた取組を立案・実践しましょう。

「体力・運動能力向上に関する講習会」  
・現状と課題  
・測定方法の確認  
・有効な動作指導

4月

## 宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査

### 宮城県調査結果の確認 県平均との比較・分析(調査報告書の有効活用)

- ・具体的数値目標の設定
- ・健康教育の推進
- ・好取組実践の活用

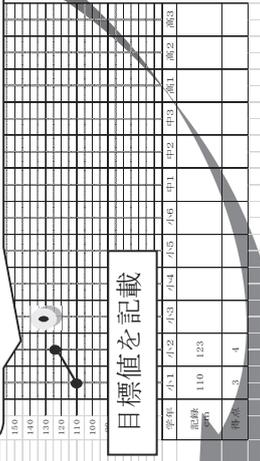
### 学校全体での取組の立案

### ○体力カードの有効活用

### 児童生徒の目標設定

目標値の設定(例)

- ① 「5点を指す。」
- ② 「5点をとるためには、130cm以上」
- ③ 「去年は123cmだから、10cm以上アップさせ、135cmを目指そう」



目標値を記載

### ○正確な体力調査の実施にあたって

- ・測定機器の正常動作確認
- ・体力・運動能力向上に関する講習会内容を全教職員へ伝達(小学校)
- ・測定方法の確認と正確な動作指導、練習

7月

全国調査  
学校質問  
紙提出

## 体力・運動能力調査の実施

全国体力・運動能力、運動習慣等調査 スポーツ庁へ各校から結果の提出  
小学5年生、中学2年生悉皆

### スポーツ健康課HPから

学校平均値と全国・県平均値との比較には  
グラフ作成が有効です。児童生徒やクラスの一覧表も作成できます。学校評議員会や学校保健委員会等での積極的活用を！

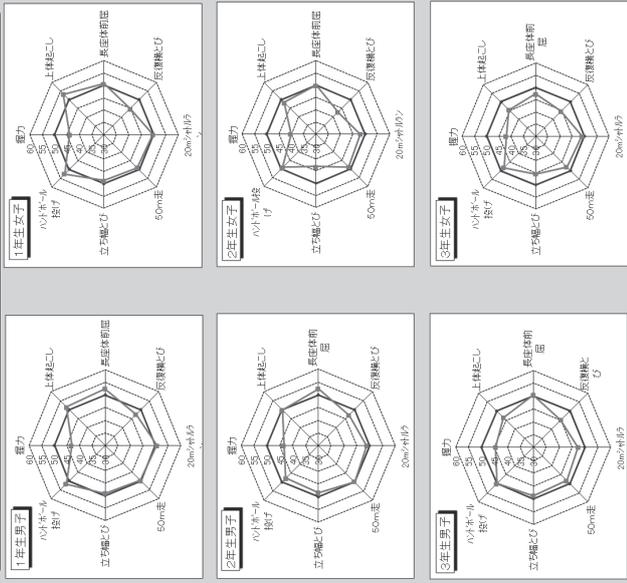
スポーツ健康課HP 学校体育トップページ  
⇒小・中・高等学校体力・運動能力調査結果の報告方法  
⇒学校平均値と全国・宮城県平均値との比較(レーダーチャートグラフ作成)

個人は、  
⇒児童生徒のレーダーチャート

体力・運動能力調査結果(宮城県平均との比較)

学年	性別	体力(kg)	上体本こ			長距離歩			立上値			ハットホル 投げ(m)
			(回)	(cm)	毎分歩幅 (点)	(分)	(分)	(分)	(分)			
1	男	19.4	24.1	40.8	46.8	68.3	8.7	173.2	17.9			
1	女	18.9	21.9	42.8	42.1	46.3	9.3	157.8	11.6			
2	男	24.6	27.3	46.0	49.9	81.0	8.0	189.4	18.7			
2	女	19.2	22.2	44.9	41.7	52.4	9.0	146.4	11.5			
3	男	30.0	27.5	47.1	51.1	83.9	7.8	204.2	22.0			
3	女	21.3	21.9	44.3	43.3	54.4	9.0	157.4	12.1			

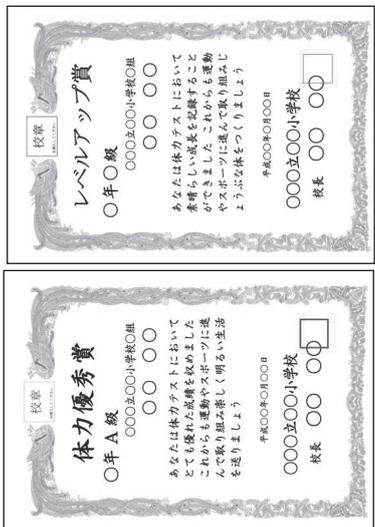
このグラフは、各学年別の県平均値と2年生調査結果(50以上の年齢の17コを基として、60を上回っている)とを比較して作成されています。60を上回っていることを示しています。  
(全国平均値や宮城県平均値は、スポーツ健康課学校体育のホームページでご覧下さい。)  
<http://www.pref.miyagi.go.jp/education/gakko/kyokai/kyokai.htm>





体力・運動能力調査結果に係る個人表彰の実施について  
～宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査結果の有効活用のために～

- 1 趣旨  
「宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査」結果の体力合計点において、総合評価がA段階、及び前学年比較で段階が向上した児童生徒に対して、その成績を称える個人表彰を行うことにより、児童生徒の体力づくりに対する関心を高め、体力・運動能力向上に向けて一層の取組を促すもの。
- 2 表彰根拠及び対象児童生徒  
表彰根拠：「宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査」結果の各種目合計点による各学年男女別総合評価（5段階）  
・「体力優秀賞」…総合評価A級を記録した児童生徒  
・「レベルアップ賞」…総合評価において、前学年から段階が向上した児童生徒（体力優秀賞対象の児童生徒は除く）
- 3 表彰までの流れ  
(1) 「体力・運動能力調査」の実施（4月～10月上旬）【各学校】  
(2) 結果の集計及び対象児童生徒の選出【各学校体育主任、学年主任、学級担任】  
(3) 賞状調製【各学校体育主任、学年主任、学級担任】  
賞状様式については、宮城県教育委員会ホームページ内の「スポーツ健康課」学校体育トップページ⇒小・中・高等学校体力運動能力調査の報告方法⇒小学校用賞状、中学校用賞状 からダウンロードして使用する。
- (4) 表彰（1月～3月）【各小・中学校】



【小学校用賞状様式】

- 4 表彰上の注意事項  
各学校においては、「宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査」の結果をもとに、体育主任、学年主任および学級担任と該当児童生徒を選出し、校長の前で賞状を授与する。

保健統計調査、体力・運動能力調査結果一覧表について  
～マイ スクール プロファイルの活用～

- 1 趣旨  
各校において、自校の保健統計調査及び「宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査」結果を、県及び全国平均と比較できる一覧表を作成・活用することによって、各校における健康及び体力・運動能力の課題を把握し対策を立てるための一助とし、健康増進、体力・運動能力向上に向けて一層の取組を促すもの。
- 2 活用にあたって  
シートに、自校の調査結果を入力する。  
シートに、自校の調査結果を入力する。  
あらかじめ入力してある県平均及び全国平均との比較が矢印により表示される。  
また、肥満・痩身傾向児及びむし歯（う歯）保有率については、評価結果が矢印で表示される。

マイ スクール プロファイル (平成29年度版) ○○市立○○中学校

○身体・体重・体格・むし歯(う歯)発育率の状況

項目	性別	学年	本校	県平均	全国平均
BMI	男	1	18.2	18.1	18.1
		2	18.5	18.4	18.4
	女	1	17.8	17.7	17.7
		2	18.1	18.0	18.0
	合計	1	18.0	17.9	17.9
		2	18.3	18.2	18.2
BMI 25以上	男	1	0.5	0.5	0.5
		2	0.8	0.8	0.8
	女	1	0.3	0.3	0.3
		2	0.5	0.5	0.5
	合計	1	0.4	0.4	0.4
		2	0.6	0.6	0.6
BMI 20以上	男	1	0.2	0.2	0.2
		2	0.3	0.3	0.3
	女	1	0.1	0.1	0.1
		2	0.2	0.2	0.2
	合計	1	0.1	0.1	0.1
		2	0.2	0.2	0.2
むし歯	男	1	1.2	1.2	1.2
		2	1.5	1.5	1.5
	女	1	1.1	1.1	1.1
		2	1.4	1.4	1.4
	合計	1	1.1	1.1	1.1
		2	1.4	1.4	1.4

○体力・運動能力調査 種目別の状況

項目	性別	学年	本校	県平均	全国平均
50m	男	1	18.2	18.1	18.1
		2	18.5	18.4	18.4
	女	1	17.8	17.7	17.7
		2	18.1	18.0	18.0
	合計	1	18.0	17.9	17.9
		2	18.3	18.2	18.2
100m	男	1	18.2	18.1	18.1
		2	18.5	18.4	18.4
	女	1	17.8	17.7	17.7
		2	18.1	18.0	18.0
	合計	1	18.0	17.9	17.9
		2	18.3	18.2	18.2
200m	男	1	18.2	18.1	18.1
		2	18.5	18.4	18.4
	女	1	17.8	17.7	17.7
		2	18.1	18.0	18.0
	合計	1	18.0	17.9	17.9
		2	18.3	18.2	18.2
400m	男	1	18.2	18.1	18.1
		2	18.5	18.4	18.4
	女	1	17.8	17.7	17.7
		2	18.1	18.0	18.0
	合計	1	18.0	17.9	17.9
		2	18.3	18.2	18.2
800m	男	1	18.2	18.1	18.1
		2	18.5	18.4	18.4
	女	1	17.8	17.7	17.7
		2	18.1	18.0	18.0
	合計	1	18.0	17.9	17.9
		2	18.3	18.2	18.2
1600m	男	1	18.2	18.1	18.1
		2	18.5	18.4	18.4
	女	1	17.8	17.7	17.7
		2	18.1	18.0	18.0
	合計	1	18.0	17.9	17.9
		2	18.3	18.2	18.2
3200m	男	1	18.2	18.1	18.1
		2	18.5	18.4	18.4
	女	1	17.8	17.7	17.7
		2	18.1	18.0	18.0
	合計	1	18.0	17.9	17.9
		2	18.3	18.2	18.2
6400m	男	1	18.2	18.1	18.1
		2	18.5	18.4	18.4
	女	1	17.8	17.7	17.7
		2	18.1	18.0	18.0
	合計	1	18.0	17.9	17.9
		2	18.3	18.2	18.2
12800m	男	1	18.2	18.1	18.1
		2	18.5	18.4	18.4
	女	1	17.8	17.7	17.7
		2	18.1	18.0	18.0
	合計	1	18.0	17.9	17.9
		2	18.3	18.2	18.2
25600m	男	1	18.2	18.1	18.1
		2	18.5	18.4	18.4
	女	1	17.8	17.7	17.7
		2	18.1	18.0	18.0
	合計	1	18.0	17.9	17.9
		2	18.3	18.2	18.2

○体力・運動能力調査 総合評価の分析状況

項目	性別	学年	本校	県平均	全国平均
総合評価	男	1	18.2	18.1	18.1
		2	18.5	18.4	18.4
	女	1	17.8	17.7	17.7
		2	18.1	18.0	18.0
	合計	1	18.0	17.9	17.9
		2	18.3	18.2	18.2
総合評価A	男	1	0.5	0.5	0.5
		2	0.8	0.8	0.8
	女	1	0.3	0.3	0.3
		2	0.5	0.5	0.5
	合計	1	0.4	0.4	0.4
		2	0.6	0.6	0.6
総合評価B	男	1	0.2	0.2	0.2
		2	0.3	0.3	0.3
	女	1	0.1	0.1	0.1
		2	0.2	0.2	0.2
	合計	1	0.1	0.1	0.1
		2	0.2	0.2	0.2
総合評価C	男	1	0.1	0.1	0.1
		2	0.2	0.2	0.2
	女	1	0.1	0.1	0.1
		2	0.1	0.1	0.1
	合計	1	0.1	0.1	0.1
		2	0.1	0.1	0.1

○我が校の体格・健康課題、体力・運動能力の状況…(調査結果から見た成長と今後の課題分析)



- 3 想定される活用場面
  - ・職員会議
  - ・PTA
  - ・学校評議員会
  - ・学校保健委員会
  - ・県教委主催による保健又は体育関係の研修

一覧を元に、各校における体格、健康課題、体力・運動能力の状況を分析する。  
様式については、宮城県教育委員会ホームページ内の「スポーツ健康課」学校体育トップページ⇒小・中・高等学校体力運動能力調査の報告方法 ⇒マイスクールプロフィール からダウンロードして使用する。